
Everyone is Small

Apple Of My Eye

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Everyone is small

【著者名】

N4764M

【あらすじ】

みんながちじんだ・・

組織を捜して倒す・・と思うでしょ?でも、この一行は楽しくのんびり小学校生活を楽しむ!?おいおい、大丈夫か?歩美のやきもちが見所!!

Kazuha - s Case

「平次い～どこお～」あたし、遠山和葉や。今氣味わるうーい裏道を通つてて、あほな幼馴染を探しとるんや。あれ、何や？あの黒い服を着た人と。平次？平次と言ひあつとるん？なんや？

「平次！？何やつとるん？」平次が驚いた顔をして、

「あほお！！来んな、和葉！！！」

長髪のおとこが言つた、

「お前のガールフレンド？フフ、一緒に死なせてやろう」

「きや～！平次い～～！」

平次が棒で殴られ、倒れた。

平次。平次。なんや、気が遠くなつていいく・・・・

遠くから、

「あの薬を飲ませろ。」

薬？・・・この味何や・・・？「つぐう・・骨が溶けていくような感じ・・ア――！――！――痛いよお・・平次い・・

「風邪ひこちやつたぜ・・・」

「私も・・・」

「青子も・・・」

みんなはたまたま和葉をさがしにあるカフュで集まっていた。
(このころ、和葉と平次はもうアガサ邸に居た。もちろん、コナン
は知つてた。でもまだショックから立ち直つておらず、蘭たちに居
場所を教えてなかつた)

prrrrrrrrrr

「私のメールだ」

”蘭姉ちゃん、連絡遅くてごめん。今、アガサ博士の家にいます。
すぐ来て！――「ナン」”

「早く行こうぜ、でもその前に風邪薬」

「うん！――はい、らんちゃん、快斗」

「ツクン

「アウグアワア――骨が・・・・」

「きや――青子ちゃん黒羽君小さくなつてる――――」

「わあ――――」

「とうあえずアガサの爺さんの家に行こ――・・・」

「――うん」

「はあ――蘭姉ちゃんたちもお――?」

「じゃあ和葉ちゃんたちもお――?」

「せや、蘭ちゃん」

「ぐ、コナン君、あたしたちに話したの教えてあげてーな

「ああ、実は俺、工藤新一でな…………ってわ
けた」

「コナン君が新一！？」

「この後、言い合いが30分くらいつづいた……

「仮名決めようぜ・・・」

「せやな、俺と和葉は決めたで

「何何？？」

「俺は太田爽。」

「あたしは小野芽衣」

「うーんじゃあ、青子は・・・・山崎朱音」

「じゃあ私は前田紗希」

「おれは。・・・富崎正気」

「新一はネーミングセンスないね」

「うつせい」

平次が言い出した、

「俺らをちいそんしたやつらは面倒だから・・・」

「ナンも言い出した

「ま、小学校生活を楽しもうじゃないか

「うん！」

「俺（青子）（あたし）バス」

「マジック（快斗の面倒見）（剣道の練習）（空手道の練習）

したい」

「じゃあ俺と蘭だけ、と

「うん！――」

「（あはは、バカップル・・・）」「

「前田紗希です。よろしくおねがいします」

「よりしぐね、コナン君」

「うふー、かくしてねー」

「（何でコナン君そんな楽しそうなの？もづーーー）」

「ロナウド遊ば」
1

「うん、紗希ちゃんー！」

たよこちあひで!!!! 紗希ちゃんに話したいことがあるの!!

「可？」

「コナン君は私のなの！－てを出さないで！－」

「幼馴染？」

「ああ、俺は紗希のこと2歳のころから知つてゐし。俺、告白し

たし・・」めんな歩美・」

と好きじゃない。フン！」

その帰り、紗希は落ち込んでた。

「大丈夫だ。」
「うん、うん。」

「もう一新」

「紗希、遊ぼうぜ」

「ウン……『ナン……』」

ピキッ……………

「な、何（んだ？）」

歩美が睨んでいた

「『ナン君、遊ぼうよお……』」

「今日は、紗希と約束あるし・・・」

すると、ちがう声がうしろからした

「俺、紗希といるぜ」

「ひとし君？あ、いじょ、行つてらひしゃい、『ナン』

『ナンは焦つた。

「や、紗希？お、お前、ひとつとビリウツの関係？」

「秘密>>>」

『ナンはすゞペークッタ

げ！

「行こり、ひつじ船>>」

「ああ」

ちゅつと蘭！……おめーあこつをぶつつけつてんだよ～？！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4764m/>

Everyone is Small

2010年10月10日15時58分発行